

日本トップレベルの標準・高度医療を安全性高く推進

標準的医療を安全にかつ最先端の医療にも積極的に取り組みます。体腔鏡下泌尿器科手術を国内でいち早く取り入れ、尿禁制型代用膀胱作成手術や尿路性器腫瘍に対する新規抗癌剤治療など、高度医療を先導してきました。

診療体制

年間約23,000人の外来患者に対し、教授以下10名の専門医が診療を担当。特に泌尿器科腫瘍、排尿障害・尿失禁、男性不妊などの専門診療を。前立腺癌についてはがん診療部との提携で質の高い医療を提供しています。

対象疾患

腎臓癌、腎盂癌、尿管癌、膀胱癌、前立腺癌、精巣腫瘍、副腎腫瘍、前立腺肥大症、排尿障害・尿失禁、尿路性器感染症、尿路結石症、男性不妊症、腎移植、膀胱尿管逆流症、停留精巣、尿道下裂などの小児泌尿器科疾患など。

診療、研究実績

一般的な診療についての実績

年間約500例の手術、うち約100例をデイ・サージャリーで対応。悪性腫瘍の手術を得意としており、機能温存と低侵襲に配慮。前立腺肥大症に対してはレーザー内視鏡をいち早く導入、大きな肥大症にも経尿道の手術が可能となっています。

高度医療の取り組み・研究

①体腔鏡手術（腹腔鏡手術）

副腎腫瘍、腎腫瘍、前立腺癌をはじめとして積極的に体腔鏡手術を施行。単孔式手術やロボット補助手術も導入し、更なる低侵襲性を追求しています。

②機能再建術

前立腺癌の術後合併症、男性機能障害防止のため、勃起神経温存手術を行うとともに、温存が困難な場合には神経移植術による神経再建を行っています。また膀胱全摘術後の人工膀胱作成にも安定した手技を誇っています。

③臨床試験

JCOG（日本臨床腫瘍研究グループ）に属し、浸潤性膀胱癌に対する術前化学療法の意義や早期前立腺癌術後の再発に対する放射線照射などに関する試験を実施中。男性腹圧性尿失禁に対する尿道スリング手術の臨床試験も実施しています。



機能温存・再生を目指した頭頸部機能外科

耳、鼻、喉のほか、頭頸部領域は多くの機能（聴覚・平衡覚、発声、嚥下、呼吸など）を有する部位であり、機能温存や回復を常に目指した治療を行います。再生医療を駆使した臓器・機能再生の臨床応用も行っています。

診療体制

耳鼻咽喉科・頭頸部外科の専門医が外来・手術を行っています。耳・鼻・喉・頭頸部腫瘍の各専門家がそれぞれの専門外来で毎週診療を行い、手術適応の方には最新の医療を提供します。

対象疾患

耳疾患：慢性中耳炎、真珠腫性中耳炎、聴神経腫瘍、高度感音難聴。鼻疾患：慢性副鼻腔炎、副鼻腔嚢胞、鼻中隔湾曲症。喉頭疾患：声帯ポリープ、声帯麻痺、痙攣性発声障害。頭頸部腫瘍：口腔癌、咽・喉頭癌、副鼻腔癌、頭蓋底進行癌、甲状腺癌など。

診療、研究実績

一般的な診療についての実績

数多くの外来患者診療と年間約600件の手術を行っています。手術では耳・鼻・喉頭の機能的手術に加え、再建外科、頭蓋底外科を含む頭頸部癌の手術、人工内耳、聴神経腫瘍手術などの高度な手術実績を誇ります。

高度医療の取り組み・研究

①人工内耳

高度感音難聴(特に小児)に対し積極的に人工内耳手術を行っています。

②内耳再生

高度感音難聴に対する内耳再生の研究および臨床への応用に取り組んでいます。

③頭頸部組織再生

頭頸部癌治療後などの組織欠損に対し、組織再生の研究を行っており、これまで喉頭、気管、顔面神経の再生などが臨床応用されています。

